

発売中! 季刊「日本のうたごえ」NO. 175

今、求められる “文化の力”

2017年のスタート号
今号3つの読みどころ

1 国民的支持を得る文化のベース
やさしさと笑い、平和主義
木津川 計(文化文芸評論家)
「戦争へ、戦争へと荷担する政治があらわになっている今。今こそ、やさしさを武器に、笑い、ヒューマニズムの文化を創ろう。」
木津川氏の“うたごえ”への熱いメッセージ。

3 創刊60周年記念 うたごえ新聞まつり
池辺晋一郎の「夢」をみてますか
—文化は歴史と人を創る—
好評のトーク全文掲載も最終回。3カ所一挙掲載です。

第10回・北海道 池澤夏樹さん(作家、詩人)
「世界をつなぐことばと音」

「闘いの歌を持つ、シリアの青年の強さ。でも、逆もまた。歌は自分で歌うもの。歌わされるものではない。」(池澤)

第11回・千葉 湯川れい子さん(音楽評論家)
「みんなのハチドリの一滴」

ビートルズ・エルビスから、反核・戦争法まで。戦争法に終止符を! 音楽人団体の会呼びかけ人のお二人。平和の為に、今やるべき事は。

第12回・石川北陸 若村麻由美さん(女優)
「自然の恵みと怖さ、そして人間は」

山村留学で感じた自然の恵みと怖さ。14年の富士山の清掃活動。ゴミから見た世界。(若村) 映画「月光の夏」と組曲「こわしてはいけない」は今、問いかける。

季刊 定価515円

日本の
うたごえ

The Singing Voice of Japan
Utageo:

175 2017.2 NO.175

2 70年に向かううたごえ運動の原点を探る
日本のうたごえ全国協議会会長 田中嘉治
来年の70周年を、どの様に迎えるか。運動のこれまで。うたごえの3つの特徴とは。明日の為に今何をするのか。

全会員必読!

毎回好評の“連載”と“楽譜”

連載

石黒真知子さん(詩人)の“ポエム&エッセイ”でたとこ勝負。今回のポエムは、「ラクダの図書館」です。栗山文昭さんの「音楽の樹から」。毎回たくさんのお楽しみと出会える!

楽譜「町」 信長貴富/編曲

うたごえ運動創立70周年の記念に、うたごえの愛唱歌から18曲を選んで、6人の第一線で活躍の作曲家に編曲を委嘱。その1曲。信長高富さんによる「町」。ニューアレンジの楽譜集は、4月末に発売予定。定価2000円。皆さんお楽しみに。

申し込みFAX番号 : 03-3200-0193

購読申込書(いずれかにチェックを)

定期購読

ばら

【取り扱い団体】

お名前:

所属:

ご住所: 〒

電話:

E-mail

@